

大綱心で交通安全！

高齢者の交通事故防止について

平成28年、県内で発生した高齢者が関係する交通事故(65歳以上の事故)は、発生件数2863件、死者41人、負傷者1776人です。特に、全死者のうち、高齢者が約63%を占め、非常に高い割合となっています。また、高齢者が加害者となる事故も増えており、全国的にも問題になっています。

今回は、その状況を踏まえ、高齢者の交通事故防止について紹介します。

交通事故の被害に遭わないために

■**道路横断時の安全確認の徹底**

県内で起きた歩行者の交通死亡事故のうち、高齢者の割合は、83・3%と非常に高くなっています。特に、横断歩道以外での横断中に事故に遭うケースが増加しています。

横断歩道が設けられている付近では必ず横断歩道を渡りましょう。また、道路を横断する際は、右・左・右と安全確認を行い、道路の中央付近でもう一度、左から車が来ないか確認して渡りましょう。

■夜間外出時の服装と夜光反射材の着用

夜間歩行中に交通事故で亡くなった方のほとんどが、夜光反射材を身につけていなかったことが分かっています。夜間外出時には、明るい服装を心掛け、夜光反射材を着用するなど、なるべく運転手が気付きやすい格好で出掛けましょう。

早朝、夕方、夜間は明るい格好で!!



■加齢に応じた運転

交通事故の加害者とならないために、運転に集中しましょう。

- お～おはようから
- お～おやすみまで
- つ～常に交通安全も意識して
- な～無くそう交通事故

Vol.10

【問合先】

- ▼本庁防災安全課危機管理グループ
- ☎(23) 51111 (内線4932)
- ▼薩摩川内警察署交通課
- ☎(20) 01110

返納カードまたは、運転経歴証明書
を所有している方

【受付】薩摩川内地区交通安全協会
(原田町 薩摩川内警察署内)
☎(25) 3100

■サポカー(運転支援機能付き車両)の利用

自動ブレーキやペダル踏み間違い時の加速抑制装置などを搭載した車両が普及してきています。

平成28年に高齢者ドライバーの死亡事故の原因として最も多かったのは、ブレーキとアクセルの踏み間違いです。運転に不安がある方は、サポカーの利用を検討されてはいかがでしょうか。

運転免許証自主返納メリット制度

本市では、運転免許証を自主的に返納した高齢者に対して、市内のタクシー会社で利用できるタクシーチケット5000円分を、1回に限り交付しています。

【対象】

- ▼本市に居住する65歳以上の方
- ▼有効期限が平成28年4月1日以降であり、有効期限内に運転免許証を自主返納した方

*平成28年3月31日以前に返納した方は、この制度の対象にはなりません。
▼薩摩川内警察署で運転免許証の自主返納手続きを行い、発行された自主

ブレーキとアクセルの踏み間違いによる死亡事故の年齢別の割合

(平成28年中)

